

アセスメント協会
関西支部発足11周年記念誌
11th Anniversary of Kansai Branch



アセスメント協会
設立理念

未来を見据えた地球環境、社会環境、組織経営と運営に役立つ
「アセスメント監査・審査・監察」の研究を進め、理論と実務のバランス・融合を図り、
これらをひろく普及する活動を通して、社会に貢献する。



Our Principle



ごあいさつ——交流を重ねて企業と社会に貢献

関西支部長
関口 清

1936年生まれ。
1960年東京電機大学工学部卒業。
早川電気工業(現シャープ)入社。
中央研究所研究員を経て、ハンブルク・シャーブレクトロニクスヨーロッパ技術課長、マンチステーター・シャープエレクトロニクスUKリミテッド技術部長を歴任。
1975年本社新基盤開発室本部、電気システム事業本部及び電子部品事業本部の品質規格責任者として、国内・海外安全規格、羅致通信規格、妨害電波規制の管理及び社内外のISO工場検査及び監査員育成に従事。
1996年より関口QAコンサルティング事業所代表、グローバルテクノ主任講師。

資格・所属団体
米国IRCA監査主任審査員・米国RABOSA監査主任審査員・日本JROA監査主任審査員・国際IATCA登録上級審査員・国際IATCA修証審査員・日本標準適合性認定マネジメントコンサルタント・英国MICA会員・米国ASQ上級会員・日本品質管理学会正会員

まだ成人にも達しない11年という歳月は、
関西の有志が大いなる夢と希望そして使命感を胸に、
ともに手を取り合って前進を続けた貴重な時間
お互いに切磋琢磨する中で、
組織も人間も着実な成長を遂げました。

日本の動き

1955年、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、新設設立メジャーの新入社員／1966年、司馬遼太郎死去、DVD登場

実務的な勉強会であると同時に、
人間味溢れる交流の場であり続けましょう。



アセスメント協会関西支部発足11周年を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

先駆者の如じとか、この関西支部も今回11周年を迎え、本日の記念大会には、3名の講演者の先生方と50余名にも及ぶ支部会員のご出席により開催できたことを大変うれしく存じます。これもひとえに、支部の皆様の日頃からの研修活動に対するご理解と熱心な協力心があるからこそと信じております。また、研究懇親会の会場につきましては、株式会社グローバルテクノの砂川社長様のご協力により提供していただいていることを深く感謝申し上げる次第でございます。

ここで、アセスメント協会と関西支部「創立期」の思い出に少しふれてみたいと思います。アセスメント協会は今から12年前の平成6年5月、グローバルテクノのセミナー卒業生を対象として発足しましたが、その発足の主旨をみると次のようなものであります。

アセスメント協会は、「21世紀に向けて企業が邁進では通れない4種構造、即ちISO9000認証システム、製造責任(PL)、株主報酬及び環境システムであり、これらの中核である監査についてのグループ研究会として本年(1994年)5月に発足する。スタマトイクスのロバート・マクシ、IQA(現IRCA)の理事ジョン・グースの内氏を名誉顧問に迎え、事務局をグローバルテクノ内に置き活動を開始する」とあります。

立ち上げに直接奔走していただいた方は、グローバルテクノ社長の砂川清美氏及び元ソニー・カルの江田(こうだ)氏でした。当時の例会会場は東京だけでしたから、関西や西日本在住の会員は、毎回の例会出席は大変困難でした。

発足同年7月に、アセスメント協会活動の一環として「21世紀に向けての企業の生き残り戦略」と題しての講演会を大阪市天王寺区で開催する機会があり、その際、江田氏から「ぜひ大阪で関西支部を立ち上げてはどうか」との依頼が私にあり、その後、関西、西日本の会員有志を招集し、発足準備会議を

何度からもってようやく平成7年(1995年)11月11日に大阪難波の法善寺有番で「関西支部発足会創設1回例会」が開催できた次第です。この11月11日に因んで、今回の記念大会は改めて11周年目に開催いたしました。

関西支部発足会当時の名簿を見ると、参加者は19名、そのうち現在まで継続して活動に出席している会員は3名になってしまいました。しかし、その後の活発な研究活動の結果、現在の関西支部の会員数は60名となり、例会への常時出席者は平均27名から30名であり、活況を呈しています。

11年前の支部活動の中で特に印象深いこととしては、今年を含め3回に及ぶ新木原の尼尾瀬山跡地と渡良瀬川沿岸の薪毒による被害の実験研究フィールドワーク及び叶牛の和歌山田邊灣天神崎のナショナルトラスト地とユネスコ世界文化遺産である熊野古道の自然環境研究フィールドワークでした。

このフィールドワーク活動の結果として町内会は、かつて足尾(古河)銅製錬所の煙突より吹き出された重酸ガスによって全城にわたり草木を枯らし、100年経った今も草木の生えない足尾の山に紀州の苗木を寄贈し植樹させていただきました。

今後ともこの会は、専門性を兼ね、かつ実務的な勉強会を通じ、人間味溢れる交流の場であることを念願いたしております。

会員の皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

2006年12月9日
関西支部長 関口 清

世界の動き

1965年、世界貿易機関(WTO)創立／1966年、ベルギーの日本大使公邸占領事件

From Zero

発足11周年記念鼎談

2006年10月7日 関口 清・村田 勇・藤井 有

東京まで遠征して勉強会に参加したり、英文のテキストで学んだり…手さぐり状態の黎明期から今まで、私たちの原動力はなんとしても日本にマネジメントシステムを根付かせようという熱い想いでした。



村田 勇 (むらた・いさむ)

関西支部部長、村田ISOマネジメント事業部代表
1942年生れ。
1963年東芝バルブ(株)入社後、関西大学工学部機械工学科に同内留学。1975年並びに78年、同社において米田機械学会(ASME)による原子力用弁製造の品質保証をするNスタンプ認証取得活動推進メンバーとして参画。1992年ISO9001認証取得活動の推進責任者として参画。1995年IRCA(現IRCA)主任審査員資格取得。1996年並びに96年度の後方工程での品質管理を吉川技術指導。2001年東芝エンジニアリング(現)にて国内各地の原子力発電所のメンテナンス工事における品質保証担当。

資格・所属団体
日本IRCA登録主任審査員・英国IOA主任審査員・日本IRCA登録主任審査員・NPO法人OSひとつ・大阪府福祉分野の第三者評議会議員など



講話を聴取られて、3名の先生が登壇。表情には歎びや感心の色が見て取れます。

魅力ある例会を続け、忌憚のないディスカッションで特徴を發揮。



——本日は、関西支部の立ち上げから今日までを通して中心的な役割を担ってこられた関口会長、村田さん、藤井さんの三方にお集まりいたしました。アセスマント協会発足前後の状況や関西支部設立当初の活動の様子、今後のビジョンなど幅広くお話をお聞かせください。

JAA発足以前から関西支部の立ち上げ前後

関口 協会の発足以前にIQAの資格を持つ人が日本に相当いましたが、ISO9000の資格ではないわけです。IQAのライセンスを中心に、日本でロイシングスターさんが9000の認証の仕事をするということで始まっていたと記憶しています。そして、スタッフマトリックスが来て日本に審査員をつくるという動きがありました。当時は今のJIC、日本検査、ISOに興味を持つ全国の先駆者たちに参加を呼びかけたのがスタートです。第1回の講習は92年5月1日から6日まで千葉県の幕張で行われました。講師は二浦さんと鈴川社長でお二人は半年か1年前にアメリカでLASコースを受講されています。その講師がスタッフマトリックスの吉川・マラシェです。これが発足以前の状況ですが、4回目の村田さんが受講した時は契機に止めてしまいました。話題が多く、教科書も試験も英語ですから人が集まりません。その後、鈴川さんが全部翻訳してLASコースを日本でつくり始めました。

藤井 ですから5回目から「本格でやっています」。

関口 碓山を第1回としていますね。私も3、4回講習でしたが、受講料がいくらになるか分かりませんと云われましたが、集まった人数で割るからです。50万円から100万円ということで、私の時は20名が集まって10名は日本検査の職員でした。結果、受講料は50万円くらいでした。

村田 アセスマント協会ができる前にQA研究会というのがあって、それが我々より1年ほど早くあったでしょうか。グローバルの見のかかった人あるいは卒業生を基めてアセスマントをやろうということで関西支部を立ち上げたのが95年、平成7年の11月11日、「開門」です。

関口 15回から33回の講習会で15名が集めた記録が下帳にあります。前年の94年8月1日にはJAB認定の審査員第1回の発表が行われました。現在のIRCA、当時のIQAの登録認可書を持っている人が申請書を提出すれば認可でしたんです。ですから、審査員が生まれて1年ちょっとという時期に関西支部が発足しているわけです。アセスマント協会の第1回会報誌を見ると、名前はIQAではなくEAAA、EAGLE EYES ASSOCIATION FOR

ASSESSMENTで、東京で活動していました。

村田 当時の関西支部の例会は年に2回くらいです。2か月に1回やるようになったのはグローバルの大坂支部ができてからです。最初の1年から2年は私が準備会を担当しました。

藤井 大阪、京都と隔月でやって、京都は京都駅の南にあるホテルを使いました。当時は京都も面白くて、京都のISO、KISOというのをつくり、ISOの会場はなしつれども立派な懇親会がされたりしていましたよ。

関西支部の現在そして今後に向けて思うこと

村田 CPDはサインが不要になるという話になっていますが、移行審査があるとか書き方方がどうだとか、こういう場に出ていないと資格を維持するのも非効率で大変です。そういう意味で今の関西支部は審査員が半分、企業人が半分ということで、ちょうどいいバランスになっていると思います。ISOがやや低調な中、関西ががんばっている背景は、ある種の異業種情報交換ができるからでしょう。

関口 なんでも秘密で研究会をしても得るものはないせん。洋服部ということを行なえさえするなら、どんな内容でも研究していくのが本来の姿ですね。差し障りのない話題で時間をつぶすようでは研究になりません。今後の展望としても、関西では時間を有効に使う魅力ある例会を開いていかなければですね。専門性を高めた忌憚のないディスカッションを展開していくことが特徴を出せる方向だと思います。会員は日本から自分の専門性を含めて勉強をしていただきたいし、フィールドワークも続けてくださいですね。

藤井 いろんな世代が参加しているところに強みを感じます。長年のメンバーによるリードや下支えも必要ですし、将来的にレベルアップできる一面も持って發展していくといいですね。

——設立当初の内外の動きや人のつながりなど実際に興味深い会話の連続で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。
諸先生方のご努力があってこそ現在の関西支部の隆盛であると改めて実感しました。



設立当初を伝える資料の数々

Records of Meeting

例会——交流と研鑽を重ねて

会員による得意分野についてのレクチャー、あるいは講師を招いての専門性の高い講演などマネジメントシステムのみにとどまることなくテーマを自在に拡大
「知」の自由空間に遊び学ぶ例会を重ねてきました。

講演や活発な報告、問題提起、討議などを通じて個人と組織の成長を高める例会。

2002年



2003年



OHPを用いて本格的なレクチャーを展開

「学び」は果てることのない課題であり
楽しさの中に一本筋の通った集いが誇り。

2004年



12月の例会での記念撮影



飛田百瀬での有志懇親会

2005年



12月の例会での記念撮影



2006年



ノートパソコンを用いたおもいに





面白くなければ価値が無い。
楽しみの中に未来への指針を見つめる。

フィールドワークでお世話になった
田村先生

Result of Fieldwork

フィールドワーク — 見識を深めて

古代、中世、近現代…。
心の翼を自由に広げて歴史に学び、日本各地の文化を知る
日常のルーチンから離れ、
貪欲なまでに幅広く知識を吸収する姿勢と
行動から新たな活力が生まれてくるのです。

フィールドワーク／熊野古道



ながらの奥伊古を見学

各自のテーマを実践するために、
国内各地に足を運んで歴史、文化、現在の取り組みなどを学ぶ。

熊野古道研修会 2005.10.25 ~ 28



熊野古道大仏の前で



飛辺町の南方新村記念碑

フィールドワーク／足尾銅山



昭和7年当時の足尾製錬所の写真　日高一村　西高社寺



開拓支部として防災植物を行う

我が国の公害問題のみならず、環境と地域再生のさきがけとも言える、
足尾銅山でのフィールドワーク。

第1回足尾研修会 2003.11.23 ~ 25
第2回足尾研修会 2004.10.29 ~ 31
第3回足尾研修会 2006.10.27 ~ 29



足尾銅山の前で



杵木根太郎記念碑の前で



行き先で足尾製錬所跡



世界の動き | 3000年、当印乳業食品中止事件、一千円札廃行、ショーン・ソーラーが女子陸上選手の食メダル

Unity and Advance

発足11周年記念式典

それぞれの挨拶やスピーチからじみ出る誇りと自信
明日に向かって歩く決意と意欲
会員と来賓が、堂々に会し、
関西支那らしい和やかな雰囲気の中、
発足11周年記念の大會を心から祝いました。

舞台はおなじみのグローバルテクノ大阪研修センター。この日はやはり、いつもの例会とは異なる晴れやかな気分が会場にみなぎります。開口支部長による開会挨拶を皮切りに、来賓お三方のそれぞれに味わい深い講演をいただき、和やかな記念撮影で幕を閉じました。



開口支那による開会のあいさつ



拍手



功労を称え山谷三郎氏に感謝状を贈与

発足11周年記念大会 式次第

1. 開会挨拶　支那長
2. 来賓ご挨拶
3. 認証状の授与
4. 講演「持続的成長経営に必要なISO・MS活用」
(株)グローバルテクノ社長 砂川 清栄 氏
5. 講演「認証審査の審査員はエンターテイナー」
国際システム審査 株社 岩岡 寛 氏
6. 講演「イラク人道復興支援活動と危機管理について」
陸上自衛隊幹部学校教官・2期生会 開口 葦 氏
7. 足尾フィールドワーク活動報告
8. 開会挨拶　新支那長

盛会振りと人脈の広がり、
多士済々な来賓も組織の成長を語る。

講演 ハネリスト



株式会社 グローバルテクノ
砂川 清栄社長による講演

持続的成長経営に 必要な ISO・MS活用

パワーポイントを使用した分かりやすい展開で、ISO及びマネジメントシステムの意義、原則、効果と考え方、さらに21世紀における組織の価値と重要性などをお話しいただきました。講演後の質疑応答も活発なものとなりました。



国際システム審査 株式会社
岩岡 寛社長による講演

認証機関の 審査員は エンターテイナー

岩岡社長のお話はご自身の現場での体験に基づくもの。ユーモアあふれる発揮深い内容が次から次へと続いていたという間に時間が経ちましたが、審査を受ける側への心配の大切さなど貴重なお話を聞かせていただきました。



陸上自衛隊幹部学校教官
開口 葦2等陸佐による講演

イラク人道 復興支援活動と 危機管理について

マスコミ報道では知ることができなかつたイラン派遺のさまざまな実態。とくに、想像を絶する過酷な気候や文化の差異が生む現地の人々の考え方や行動様式などなど、大変な活動であったことを痛感させられました。

砂川 清栄 (さながわ せいえい)
神奈川県出身

1968年 神奈川大学工学部機械科卒業
1992年 株式会社カーボンテクノ計画
代表取締役社員
2006年 ISO27001監督セキュリティ管理者
登録技術、株式会社グローバル
テクノ審査機構設立、代表取
締役社長

岩岡 寛 (いわおか みつぐ)
神奈川県出身

1972年 横浜国立大学工学部鉄道工学科
卒業
2000年 国際システム審査(株)
の代表取締役社長として、審査
登録機関を立ち上げ

開口 葦 (せきぐち けい)
宮崎県出身

1991年 防衛大(管理学)卒業
陸上自衛隊
2006年 12月～イラク派遣
2006年 7月～陸上自衛隊幹部学校 教官
教官



Dreams and Smiles

信頼と結束で
50周年、100周年を祝う組織へ。



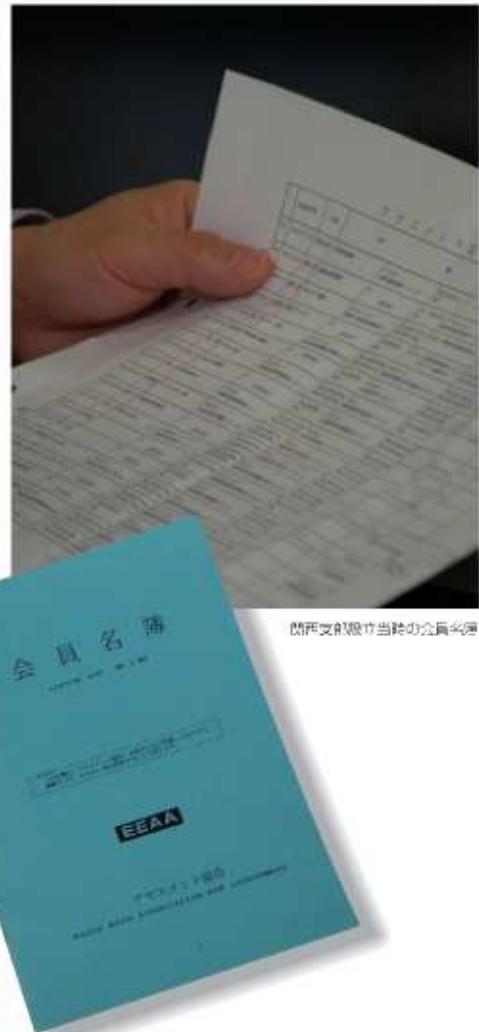
11年の歩みを通して培った組織としてのまとまりと活力、
個々のスキルの向上と社会への貢献、
記念すべき日を迎えるにあたり、感謝の意を込めてお祝いします。
さまざまな想いを胸にさとうなる飛躍を誓いました。



12月9日の記念式典には多くの会員が出席

Memories and Members

揺るぎない信頼と結束



私たちの歩みを語る資料が訴えるものは、明日を信じて前進することの大切さ。
そして協会のあるべき姿とは、
たゞ会員数の規模を追うのではなく、使命感、知識、豊かな人間性など、
これからも魅力ある人材を育てる組織であり続けます。
新たな1年に向けて、信頼と協調を重ねながら。

日本の動き

2005年、青島英光ダイオードの発明特許訴訟が和解。豪州の初期爆破、JR福知山線事故、マンション耐震強度監査問題が終結。
2006年、昭江貞文氏ルカブニア幹部を逮捕。WBCで日本が優勝。FIFAワールドカップドイツ大会開催。

拡大と向上を続ける関西支部の会員たち。



ゴルフを通じて同好会的な活動も…



左へ：鬼塚カントリー倶楽部にて

■会員氏名(2006年12月現在)

A0001 村田 勇	A0228 回尾 忠晃	A0388 和美 隆男	A0436 �游場 博	A0483 大串 忠昭
A0002 関口 清	A0233 井上 元久	A0389 辻村 健治	A0437 赤穂 清隆	A0484 寺下 一範
A0009 藤井 有	A0236 花岡 宏伸	A0391 穂田 玄宥	A0438 後 洋人	A0486 片桐野 尚美
A0019 堀 英晴	A0258 山谷 三郎	A0395 尾西 智英	A0441 吉川 宣行	A0491 長瀬 雅彦
A0125 依光 和也	A0265 日下 明	A0397 武 伸一	A0442 河野 弘志	A0492 藤原 五男
A0169 速川 英津子	A0271 辻井 浩一	A0398 小永井 貞夫	A0458 安友 震太郎	A0493 高馬 勇
A0177 矢野 民朗	A0275 赤井 � 宮一	A0407 丸田 道男	A0459 相良 政俊	A0494 北川 幸平
A0182 井上 正昭	A0283 宇野 通	A0411 芝田 有輝	A0462 新垣 重男	A0495 半澤 一夫
A0188 大森 武	A0284 石川 一夫	A0424 上西 美佐夫	A0463 藤森 正宏	A0496 内山 吉春
A0194 野志 征幸	A0305 若山 義兼	A0428 芝田 雅仁	A0467 青山 将茂	A0497 小畠 貞二
A0202 佐藤 明	A0343 湯本 秀明	A0430 福田 啓三	A0468 釣谷 清勝	B0001 清口 康一
A0210 素木 博之	A0377 三国 宗治	A0431 中谷 理佳	A0471 霜尾 清	B4020 大根 出
A0219 相原 建	A0387 中島 重之	A0435 岡本 俊雄	A0474 大西 幸子	B4021 新居田 章

世界の動き

2005年、ユーラシア王はハヌ・バウコ2黒社長、北京などで人質稼な才日テモ
2006年、フランスの若者向け雇用制度を巡り全土でスト、タクシード政府見死